



松原泉の今は…

重信川を愛する多くの人々によって、より多様な生物が棲める自然環境の再生への試みはすでに始まっておるんじや。みんなも昔のように川や泉で水遊びが楽しめる親水環境を目指して水と緑のネットワーク形成に取り組んで行こうではないか。

現状

魚道



河畔林 (在来の樹種)



小川



松原泉



注意! 外来種の侵入

- ★ブラックバス
- ★ブルーギル
- ★スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)

昔の松原泉とその周辺にいた動植物

- 魚類：ウナギ、オイカワ(ショウハチ)、ヤリタナゴ、スジマドジョウ、インドジョウ、ヨシノボリなど
- 鳥類：カワセミなど
- 植物：テイレギ、オミナエシなど

地元住民による維持管理活動

●地元住民により、松原泉および周辺の清掃活動が実施されています。地元住民が集まり「松原泉を再生・保全する会」が立ち上がるなど、地元の住民の関心は高い場所です。



地元中学生による清掃活動の実施風景



戻ってきた動植物

●再生した松原泉を調査した結果、いろいろな動植物を確認しました。近年、減少傾向にあり、重要種として環境省で指定されているメダカ・ヤモリをはじめ、オイカワ(ショウハチ)、ドジョウ、トンボの幼虫のヤゴなどがみつかっています。



▲シマヨシノボリ



▲メダカ



▲ドジョウ



▲ショウジョウトンボ



▲ミソソバ



▲イモリ

環境学習の場としての利用

- 環境学習の場として、地元小学校が授業の一貫として定期的に松原泉を利用しています。毎年、松原泉をテーマにし、発表会に参加するなど活発に活動しています。
- 地元の子供たちが父兄とともに虫採り、魚採りをしている姿もみられます。



地元小学生による環境学習の実施風景

